学校番号	1016

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「保育基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○子育てに関心をもち、積極的に取り組みましょう
・自分自身の成長過程をふり返り、人が人として成長することの奥深さを確認しましょう。
・育てる者としての気持ちを獲得し、子どもの様々な特徴を学びましょう。
・子どもと積極的に関わる機会をもちましょう。
・保育検定の合格めざし、家庭看護・表現活動の技術を練習しましょう。

2　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。 子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題をみつけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの保育	・保育の意義 ・保育の方法 ・保育の環境	a:子どもの人格形成における保育の重要性を理解している。家庭での養育と集団保育の役割を理解している。 b:子どもの保育の特徴や保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。 c:保育の意義について、自分自身が親や保育者になることを考えることなど、自分の人生観と結びつけて考えようという姿勢が見られる。	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント	授業観察 授業プリント ワークシート レポート
	子どもの発達	・子どもの発達の特性 ・子どものからだの発達 ・子どもの心の発達	a:子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていることを理解している。発達の過程で子どもができるようになることを、月齢や年齢に応じて挙げることができる。 b:月齢、年齢ごとの子どもの心身の発達の様子を理解した上で、子どもの個人差を考慮した適切なかかわり方を考察し、具体的に提案することができる。 c:自身が保育者になることを想像しながら、子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるべきかなど、主体的に捉えようとしている。	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント	授業観察 授業プリント ワークシート レポート
	保育体験	子どもとかかわってみよう(保育実習)	b:保育実習において、子どもの発達や生活の特徴を調査・観察し、まとめたり発表したりすることができる。 c:保育実習において、子どもの発達段階や生活の特徴を意識しながら、積極的に子どもとかかわろうとしている。		ワークシート 実習レポート グループ活動 発表	ワークシート 実習レポート グループ活動 発表

2学期	子どもの生活	・子どもの生活と養護 ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止	a:子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術が身についている。基本的生活習慣と社会的習慣の意義と重要性を理解している。子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解している。 b:子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考えることができる。 c:子どもの生活に関心を持ち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。	定期考査 乳幼児の世話などの実習	ワークシート 実習レポート グループ活動 発表	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート
	調理実習	幼児食や幼児用おやつづくり	a:子どもの食生活の特徴に合った料理の作り方を理解し、基礎的な技術を身につけている。 b:料理を作る際に、食べやすさや栄養素のバランス、アレルギーに配慮するなど、工夫することができる。 c:調理に関心を持ち、調理実習に積極的に参加している。	定期考査 調理技術	ワークシート 実習レポート	ワークシート 実習レポート
	子どもの文化	・子どもの文化の意義と支える場 ・子どもの遊びと表現活動 ・子どもの遊具等の作成	a:子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に関連する技術を身につけている。 b:子どもの文化の現状を捉え、今後の課題について考察することができる。 c:遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるよう、積極的に取り組んでいる。	定期考査 作品制作	ワークシート 実習レポート グループ活動 発表 作品制作	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート

3学期	子どもの福祉	・子ども観 ・子どもの福祉 ・子育て支援	a子ども観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解している。 b:児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。 c:子育ての現状をふまえ、これからの子育て支援について関心をもち、自分で情報収集をしている。	定期考査	ワークシート レポート 授業プリント 発表	授業観察 授業プリント ワークシート レポート
適宜	保育技術検定	全国高等学校家庭科保育技術検定を受験(試験の日程に合わせて適宜授業で実習を行う)	a:表現活動について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術が身についている。看護について、保育者として適切にかかわるための基礎的な技術が身についている。 b:表現活動おいて、子どもの情緒や社会性を育むことができるように、演じ方や制作方法などを工夫している。看護において、子どもの安全や心の状態に配慮し、かかわり方を工夫している。 c:子どもの保育に関心をもち、将来の職業を見据えながら、子どもの表現活動や健康・安全などについての理解を深めようとしている。	実習 実技テスト	実習レポート	実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度